

(情報名) 美味しくて、「ぼろたん」の授粉樹に適したクリの晩生新品種「美玖里」	
【要約】「美玖里」は9月下旬～10月上旬に収穫できるクリの晩生新品種で、果実は大きく、食味がたいへん良く、栗きんとんの加工にも最適である。渋皮が剥けやすい「ぼろたん」とは、収穫期が重ならないため、授粉樹(混植樹)として適する。	
中山間農業研究所・中津川支所・神尾真司	【連絡先】0573-68-2036

【背景・ねらい】

県内産クリの和菓子加工向け、特に銘菓「栗きんとん」向け需要はますます高まっており、品質がよく収量性の高い品種の育成が望まれている。一方、産地では食味が良く渋皮が剥けやすい新品種「ぼろたん」の導入が進んでおり、その有利販売に向け異品種の混入を防ぐため、最適な受粉用品種の選定が求められている。

そこで、農研機構果樹研究所育成系統の特性を調査し、当県への適応性を評価して、新品種の早期普及に資する。

【成果の内容・特徴】

- 1 「美玖里」は、(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所が晩生品種の「石鎚」に、晩生品種で食味が優れる「秋峰」を交配して育成し、当研究所を含む全国13カ所の公立試験研究機関でその特性を検討した結果有望と判定され(クリ第6回系統適応性検定試験)、平成21年9月に出願公表されたクリの新品種である。
- 2 中津川市(中津川支所)において、樹勢はやや強く、樹姿はやや開帳性である(図1)。
- 3 収穫期は、9月27日～10月8日(5～10年生の6年間の平均値)で、「筑波」より7日遅く、「石鎚」より4日早い晩生品種である(表1)。
- 4 収穫期が「ぼろたん」と重ならないため、混植しても「ぼろたん」の収穫果実に混入する恐れが非常に少ない(表1)。また、「ぼろたん」との交配親和性は高く、渋皮剥皮性にも影響はないことから、「ぼろたん」の授粉樹(混植品種)として適する(データ省略)。
- 5 収量は、「筑波」より少ないが「丹沢」、「石鎚」と同等である(表2)。
- 6 双子果、病害果の発生は少ない。虫害果の発生はやや多いが、「筑波」と同程度である。裂果の発生は、年度により差があるがやや多い(表2)。
- 7 果実の形は円形(側果側面)で褐色を呈し、外観はきれいである。1果重は29.1gと主要品種に比べ大果で、揃いは良好である(図1、表2)。
- 8 果実の比重は1.06と高く、蒸しクリにした時の果肉色が黄色で、肉質は粉質、甘みが多く香りがあり、食味は極めて良好で、「筑波」や「石鎚」より優れる。
- 9 「栗きんとん」への加工適性に優れ、黄色くて、甘み、風味が多く、食感(ほこほこ感)の優れる「栗きんとん」が製造できる(表3)。

【成果の活用面・留意点】

- 1 「美玖里」の苗木は、平成22年秋から苗木業者より販売される予定である。
- 2 県内の「石鎚」等晩生品種が栽培できる地域であれば導入可能であり、「石鎚」の代替品種として利用できる。
- 3 樹勢はやや強く、新梢の伸びが良いため、施肥、剪定等に留意する。
- 4 「ぼろたん」の混植樹とする場合、「ぼろたん」の雌花開花期に対して、「美玖里」の雄花開花期がやや遅いため、安定した収量を確保するためには混植率50%を基本とする。それ以下の混植率の場合の収量性については、今後検討する計画である。

【具体的データ】

表1 「美玖里」および主要品種の生育期（2004～2009）^z

品種名	雌花開花期		雄花開花期			収穫期		
	始期	満開期	始期	満開期	落花期	始期	盛期	終期
美玖里	6/5	6/15	6/16	6/20	7/2	9/27	10/4	10/8
丹沢	6/3	6/12	6/11	6/16	6/26	9/4	9/10	9/16
ぼろたん	6/3	6/14	6/11	6/17	6/26	9/12	9/17	9/24
筑波	6/1	6/11	6/12	6/18	6/29	9/20	9/29	10/8
石鎚	6/4	6/13	6/14	6/19	6/30	10/1	10/6	10/14

^z 5年生から10年生までの6年間の平均値

表2 「美玖里」および主要品種の収量性（2004～2009）^z

品種名	収量 (kg/樹)	1果重 (g)	双子果率 (%)	裂果率 (%)	病害果率 (%)	虫害果率 (%)
美玖里	6.4	29.1	1.0	15.6	0.4	8.1
ぼろたん	5.4	26.4	6.2	0.6	8.7	2.8
筑波	12.9	27.4	1.5	1.3	3.0	8.5
丹沢	6.1	23.3	4.8	4.2	4.1	4.9
石鎚	6.4	24.1	0.1	4.6	0.3	11.6

^z 5年生から10年生までの6年間の平均値



図1 「美玖里」の樹姿（剪定前）と果実果実

表3 「美玖里」の栗きんとんへの加工適性評価(2008)^z

業者	歩留まり	色合い	甘み	適性
A店 (中津川市)	○ 92.8% 石鎚より優れる	◎ 黄色が濃く、 非常に優れる	◎ 優れる	◎ 色良く、食感(ほこほこ感) が極めて優れ、適する
B店 (恵那市)	○ 81% 石鎚より優れる	◎ 黄色が濃く、 非常に優れる	◎ 優れる	◎ クリの風味強く、仕上がりは 極良好

^z A店: 10月6日搬入、10月7日加工、B店: 10月16日搬入、10月17日加工、いずれも「石鎚」を対照として評価

研究担当者：神尾真司、宮本善秋、成田久夫、瀧孝文